

「ペーパー君のつ・ぶ・や・き活動」はじめます

信頼される紙づくりに向けてのコミュニケーションを、2月1日から開始

日本製紙連合会は、2009年2月1日から「紙」についての理解促進を目的とした「ペーパー君のつ・ぶ・や・き活動」を開始します。この活動は、日常生活の中で身近に接する様々な「紙」にオリジナルキャラクターのペーパー君が登場し、紙の作り方や使われ方、紙と環境の関係など、「紙」に関するメッセージをわかりやすい言葉で紹介するものです。

2008年1月の年賀はがきを発端とした古紙配合率問題以降、製紙各社では再発防止策として、再生紙表示の明確化や古紙パルプ等配合率検証制度を導入し、着実に実施してきております。それに加えて、紙を信頼して使ってもらうためには、生活者の紙に対する知識や理解を深めることも重要だと考えております。

紙に関する正しい理解を促進し、信頼される紙づくりに向けてコミュニケーションを開始します。

1 コミュニケーションを行う背景

古紙配合率問題後、一般の方1000人を対象に、「古紙配合率問題イメージ調査」を実施しました。その結果、紙のリサイクルに対する意識や実践率は高いものの、具体的な古紙利用率や紙のリサイクルなどの理解度は非常に低いことがわかりました。そこで、生活者に紙を信頼して使ってもらうためには、紙および紙のリサイクルに関する情報・知識を深める必要があると感じています。

《古紙配合率問題イメージ調査より》

- ・紙リサイクル意識「協力したい」と回答した人は、95.4%
- ・紙リサイクルの実践「分別し、回収に出す」と回答した人は、82.2%
- ・古紙利用率推測「30%未満」と回答した人が、38.4% ※実際の古紙利用率は、約60%
- ・リサイクル可否（禁忌品）完全回答率は、6.9%

2 コミュニケーション内容

日常生活の中で身近に接触する様々な「紙」に、オリジナルキャラクターである「つ・ぶ・や・きペーパー君」が登場し、紙の理解を促進するメッセージをわかりやすい言葉で紹介します。

なお、この活動は「生活者に紙に対する知識や理解を深めてもらいたい」という趣旨にご賛同・ご協力していただいた企業と実施するものです。普段何気なく使用している「紙」上でメッセージを発信することで、より多くの生活者に目を留めてもらい、紙に対する興味を持ってもらいたいと思っています。

この活動の趣旨にご賛同・ご協力していただける企業・団体を引き続き募集しながら、展開していきます。

現在、予定しているものは次のとおりです。

《書店》

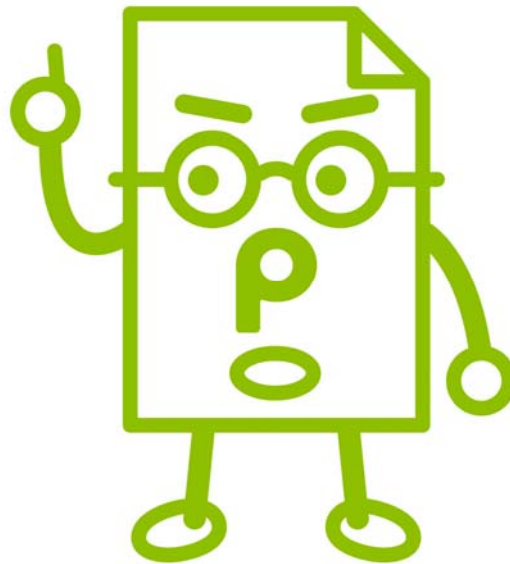
- ・ 青山ブックセンター：ブックカバー・しおりを配布（2月上旬～配りきりにて終了）
- ・ 夢屋書店：しおりを配布（2月下旬～配りきりにて終了）
- ・ 紀伊國屋書店：ブックカバーを配布（2月25日～配りきりにて終了）
- ・ アシーネ：ブックカバーを配布（3月下旬～配りきりにて終了）

《ファーストフードチェーン》

- ・ イタリアン・トマトカフェ Jr.：トレイマット（2月1日～配りきりにて終了）
- ・ ロッテリア：トレイマット（3月16日～3月25日頃）

※スケジュールは変更になる場合がございます。

「つ・ぶ・や・きペーパー君」 画像イメージ



※画像は一部です。また、画像は変更になる場合がございます。画像の使用をご希望の方は、問い合わせ先までご連絡ください。

「ペーパー君のつ・ぶ・や・き活動」のコラム例

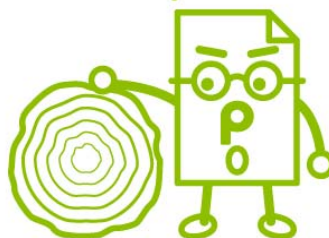
この本は何回、生まれ変わるんだろう。

紙は繊維の集合体。だから、ときほぐすことで、また使えるように。一般的には3～5回もリサイクルできるんです。



無駄なく使うこと、得意です。

古紙のリサイクルだけじゃない。建築材のあまった部分や、使い道のない曲がった木だって紙の原料にしているんです。

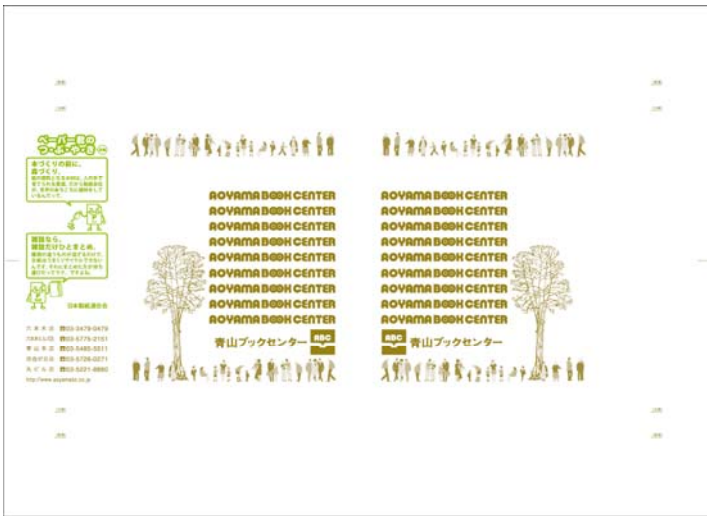


段ボールは、ほぼ段ボール製。

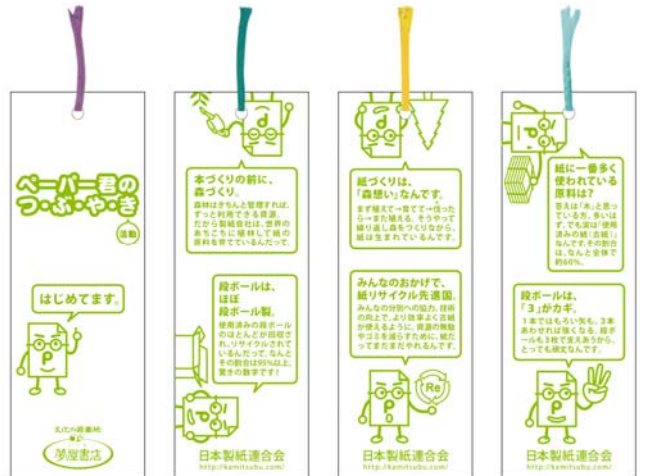
使用済みの段ボールのほとんどが回収され、リサイクルされているんだって。なんとその割合は95%以上。驚きの数字です！



実際の掲載例



青山ブックセンター ブックカバー



夢屋書店 しおり



青山ブックセンター しおり



紀伊國屋書店 ブックカバー



イタリアン・トマトカフェJr. トレイマット

＜本件に関するお問合せ先＞
 日本製紙連合会 広報部 担当：秋山・上村
 TEL 03-3248-4801 FAX 03-3248-4826